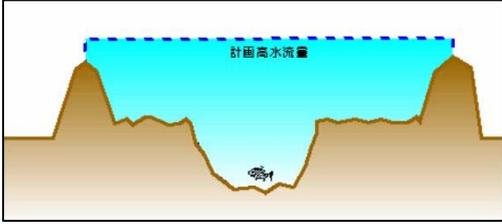
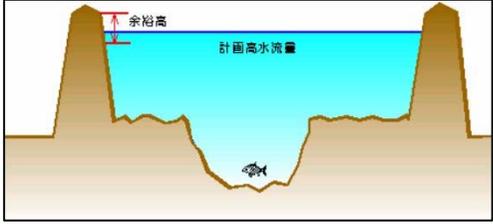
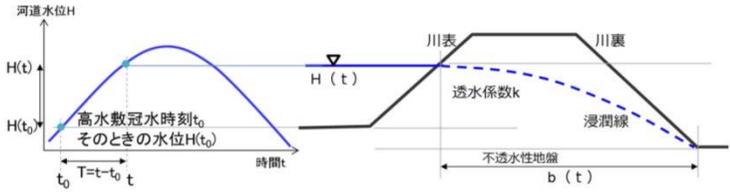
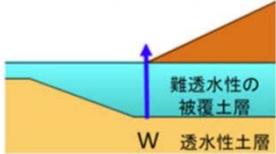
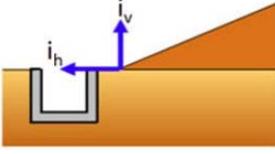


重要水防箇所評定基準（案）説明調書

種 別	A 水防上最も重要な区間	B 水防上重要な区間	要 注 意 区 間
越水・溢水	<p>計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）が現況の堤防高を越える箇所。</p> 	<p>計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）と現況の堤防高との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。</p> 	
堤体漏水	<p>堤防機能に支障が生じる堤体の変状履歴があり、類似の変状が繰り返し発生している箇所。 堤防脆弱性指標 $t^* \geq 0.01$ となる箇所、又は堤防の浸透に対する安全性の照査の結果等により法崩れ、すべりが発生するおそれのある箇所、堤防機能に支障が生じる堤体の変状履歴がある箇所。 水防団等から堤体漏水が生じる可能性が特に高いと指定されている区間。</p>	<p>堤防機能に支障が生じる堤体の変状履歴があり、類似の変状は発生していないが、安全が確認確認されていない箇所および、堤防機能に支障は生じていないが、進行性がある変状が集中している箇所。 堤防脆弱性指標 $t^* \geq 0.01$ となる箇所、又は堤防の浸透に対する安全性の照査の結果等により法崩れ、すべりが発生する恐れのある箇所、堤防機能に支障が生じる堤体の変状が確認されていないが、所要の対策が未施工の箇所。 水防団等から堤体漏水が生じる可能性が特に高いと指摘されている区間。</p>	
	<p>■各水位ハイドロ時間tごとに次式で計算を実施し、最も危険性が高い評価を代表評価(t^*)として反映</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> $t^* = \frac{8kH(t) \times (t - t_0)}{3\lambda b(t)^2} \geq 0.01$ </div> </div> <p> k : 堤体の代表透水係数 $H(t)$: 時刻tにおける河川水位と川裏のり尻の高さの比高 $t-t_0$: 冠水時間 t_0 : 1洪水の中で最初に、河川水位が両のり尻高さの高い方に達した時間 λ : 空隙率 $b(t)$: 時刻tにおいて、河川水位と表のり面が交差する位置と裏のり尻の間の水平距離 </p>		

重要水防箇所評定基準（案）説明調書

種 別	A 水 防 上 最 も 重 要 な 区 間	B 水 防 上 重 要 な 区 間	要 注 意 区 間
基礎地盤漏水	<p>堤防機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状履歴があり、類似の変状が繰り返し発生している箇所。 $G/W \leq 1$、それ以外の場合は局所動水勾配 $i \geq 0.5$ となる箇所のうち、堤防機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状履歴がある箇所。 水防団等から基礎地盤漏水が生じる可能性が特に高いと指摘されている区間。</p>	<p>堤防機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状履歴があり、類似の変状は発生していないが、安全が確認されていない箇所および、堤防機能に支障は生じていないが、進行性がある変状が集中している箇所。 $G/W \leq 1$、それ以外の場合は局所動水勾配 $i \geq 0.5$ となる箇所のうち、堤防機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状が確認されていないが、所要の対策が未施工の箇所。 水防団等から基礎地盤漏水が生じる可能性が高いと指摘されている区間。</p>	
	<p>●難透水性の被覆土層がある場合（揚圧力による照査）</p>  <p>被覆土層の重量が水圧より重ければ、被覆土層が持ち上げられる可能性があり、パイピングが発生する。 $G < W$ ※G: 被覆土層の重量 W: 被覆土層基底面に作用する揚圧力</p>	<p>●難透水性の被覆土層がない場合（局所動水勾配による検討）</p>  <p>局所動水勾配が0.5を上回る場合、砂が噴出する可能性があり、パイピングが発生する。 $i > 0.5$ ※i: 裏のり尻近傍の基礎地盤の局所動水勾配の最大値</p>	
水 衝 ・ 洗 掘	<p>水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れしているがその対策が未施工の箇所。 橋台取り付け部やその他の工作物の突出箇所、堤防護岸の根固め等が洗われ一部破損しているが、その対策が未施工の箇所。 波浪による河岸の決壊等の危険に瀕した実績があるが、その対策が未施工の箇所。</p>	<p>水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れにならない程度に洗掘されているが、その対策が未施工の箇所。</p>	
工 作 物	<p>河川管理施設等応急対策基準に基づく改善措置が必要な堰、橋梁、樋管その他の工作物の設置されている箇所。 橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等が計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）以下となる箇所。</p>	<p>橋梁その他の河川横断工作物の桁下高等と計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。</p>	
工 事 施 工			<p>出水期間中に堤防を開削する工事箇所又は仮締切り等により本堤に影響を及ぼす箇所。</p>
新 堤 防 ・ 破 堤 跡 ・ 旧 川 跡			<p>新堤防で築造後3年以内の箇所。 破堤跡又は旧川跡の箇所。</p>
陸 閘			<p>陸閘が設置されている箇所。</p>